

(参考様式4)

事業活用活性化計画目標評価報告書

活性化計画名	中田万里地区活性化計画			
計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
広島県 竹原市	340006	2	平成25年度～ 平成29年度	平成25年度～ 平成29年度
活性化計画の区域				
広島県竹原市田万里町 中田万里地区 441.0ha				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率(%) B/A	備考
定住等の促進に資する担い手への農地利用集積	53.05%	40.80%	76.9%	

(コメント)

法人への加入予定者からの加入時期延期の申し出により、労働力が確保できなかったため、目標の農地の利用集積率まで増加することができなかった。

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量			事業実施主体
区画整理	区画整理 12.5ha			竹原市
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
竹原市	平成25年度	平成29年度	平成30年3月	
事業の効果				
○地区法人名：(農)たまり 経営規模 20.9 ha 栽培品目：水稲 19.0ha アスパラ 0.5ha イチジク 0.4ha ユズ0.4 ha 等 ○基盤整備事業により、区画の整理、農作業道及び用排水路の整理を行い労働力の省力化を図ることができ、農地の利用集積に結び付いた。 (事業実施前地区法人集積率23.42%→事業実施後地区法人集積率64.22%)				

3 総合評価

(コメント)

法人への農地集積率については、数年後に労働力を確保することが可能であるため、今後、目標値までの農地集積が見込まれる。

該当法人は、当地区を含めた田万里地域全体の担い手として、高収益作物の取り組みを軸とした農地の集積を進めており、地域農業の核として、経営の拡大及び高収益作物の取り組みによる農業所得の向上等、地域農業の活性化が進むことが期待される。

4 第三者の意見

農業基盤整備（区画整理）を実施したことにより、農業生産法人へ農地の利用集積が進み労働生産性が向上した。

その成果として農作業の省力化により、経営面積の拡大が可能となり、高収益作物の導入による農業所得の向上、並びに地域農業の活性化が期待できる。

さらには、数年後に新規就農者の加入が見込まれる事も合せば、目標は概ね達成されていると評価できる。

(広島県土地改良事業団体連合会 事業計画評価委員会)

【 記入要領 】

- (1) 計画主体コード、計画番号は年度別事業実施計画に記入した番号とすること。
- (2) 「1 活性化計画目標の達成状況」のコメントには、目標が未達成となった場合は、その理由を記入すること。また、達成状況が低調である場合は実施要綱第8の2の(1)及び(2)に基づき改善計画を作成し、農林水産大臣に提出すること。
- (3) 「2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果」は事業メニュー毎に作成すること。また、「事業効果」には事業の実施により発現した効果（農山漁村の活性化に関連する効果）を幅広に記入すること。
- (4) 第三者とは「当事者以外の者」「その事柄に直接関係していない人」であり、計画主体、事業実施主体、管理主体のいずれの組織にも属さない者で事業地区を熟知している者。公務員は対象外とし、事業評価委員会等の組織を有する場合は積極的に活用すること。
※ 達成率等算出根拠（参考様式4添付資料）を必ず添付すること。